

HSK

わだち

—全国筋無力症友の会道支部—ニュース—

編集人 全国筋無力症友の会道支部
〒060 札幌市中央区大通西9丁目
協栄生命ビル9階 ☎261-8026

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北1東4 本間たけし

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻102号

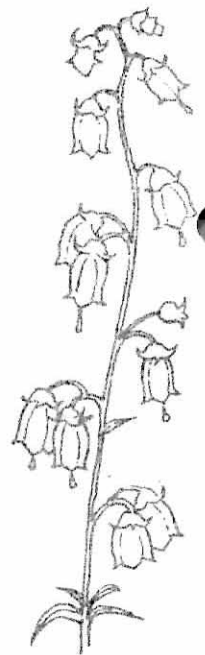
昭和55年10月10日発行（毎月1回10日発行）

わだち NO.31 1部 30円

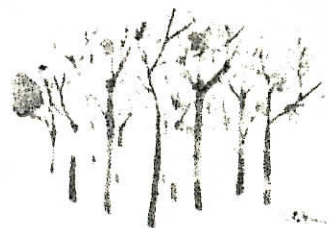


も く じ

秋も深まって	-----	1
第9回全国大会報告		
全国大会よろうさまして (鎌田毅)----	2	
一人ひとりの力は小さくても (中道和子)----	3	
ああシンド! でも楽しかった (山田真嗣)----	5	
大阪支部ニュースNO.44より (山辺大三さん)----	6	
(竹本武蔵さん)----	8	
55年度活動方針及び要望	-----	12
第9回全国大会アピール	-----	13
ご来賓・激電をくださった方の紹介	-----	16
全国大会収支中間報告	-----	17
分科会報告	-----	18
参加者の声	-----	20
支部会員近況報告	-----	22
事務局からのお知らせ	-----	24
難病連からのお知らせ		
検診・相談会の開催について	-----	26
チャリティ観劇会報告	-----	28
あ と が き	-----	29



秋も深まって



皆様 お元気ですか。

ご無沙汰しております。

全国大会も無事終り、ホッとしていたらもう十月
あまりの早さにビックリしながらも、急いで“わたち”
作りをしております。

全国各地から、大会に参加下さる方、又病床
で応援下さいました皆様、全国大会も成功裡に
終りました、ありがとうございました。

今回のステップで、北海道支部も、少し自信がっさ。
これからの活動により一層頑張ろう。



—— 全国筋無力症友の会 ——

第9回全国大会 全国から141名の参加
—— 盛会のうちに終る ——

全国大会ごくろうさまでした

鎌田 毅

あちこちから初雪・初氷のためよりなきこえるところとなりました。その後皆さまお変わりございませんか。

友の会の第9回全国大会に参加された会員・家族の方は本当にごくろうさまでした。また、参加しなくても参加できなかった多くの会員・家族の方々も残念だったと思いますが、皆様の有形無形のご援助により、無事に、いや大成功に大会が終了いたしましたことをご報告申し上げます。

残念だったことといえば、宇尾野先生が急病のためこられなく存ったことでありましたか。その代りに武田会長さんが体調の悪いところを責任を感じてかけつけて下さいました。

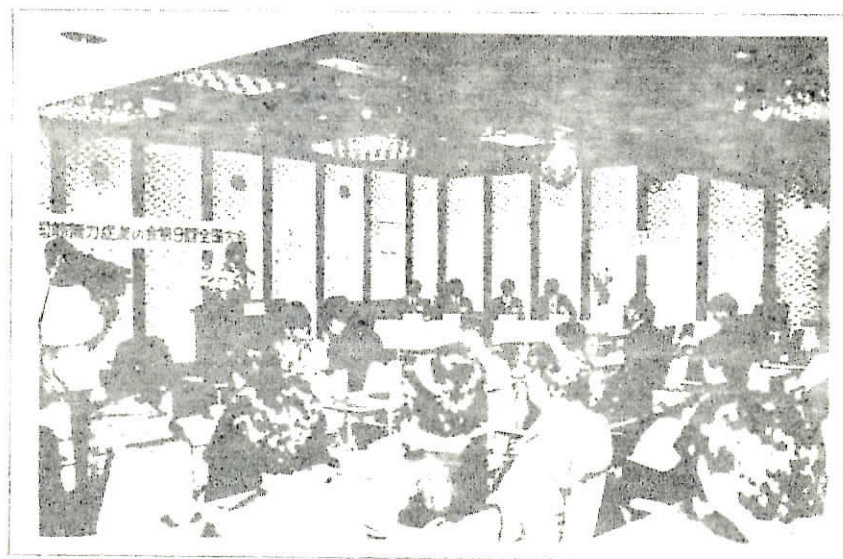
参加者は、前日台湾の吳昌重ご夫婦をはじめ、医療・福祉・行政等の方々を含めると140名程にのほりました。

1日目の大会では、議事内容は満場一致で了承され、記念講演では中瀬、瀬川、有森の各先生おのたいへん有意義な講演を聞くことになりました。（この内容は「希望」にのろと思ひます） 大会後は夕食をとりながら交流会がもたれました、吳さんの日本語のナツメロ、奥さんの中国語の歌などや、大阪から参加された方の初めての旅行、そしてどいかなるかまる北海道の旅であったこと等の涙りからの体験談、北海道合唱団のバックグラウンドミュージックを特にして……夜はいつのまにか明け、全国の会員は旧知の友のように語り歌った夜でした。

2日目の3分科会も、それぞれのテーマによって有意義な話し合いがなされました。
午後からの市内観光、そして、3日目・4日目の道内観光（オアショナルツアー）
は、これまでのうとうしい雨雲が、ちぎれ去り、全国の会員・家族のオアシスに北海
道の大自然を良せよとばかり晴れよってゆきました。

役員をはじめ、多くの会員の方々の力で、何とか大会を終了させることができましたが、
むしろ不備な点、ご迷惑をおかけした点など多々あったと思いきや、
これにもかかわらず、全国からたくさんのお礼状をいただくことができました。

この大会を通して、友の会の和の可憐さ強さを、あらためて知らされたよう
に感じたいと思います。



一人ひとりの力は小さくても

中道 和子

今夏札幌で開催された全国総会の模様を早くお知らせしなくては
思いません。いつものことながら“わだち”の発行が遅れて
おります。申し訳ございません。

支部始まって以来の、大きな行事も無事に終ることができましたが、最初全国総会を札幌で開催と聞いたときは、これは大変と思つたものです。北のはつれの北海道に、はたして全国の会員が参集して下さるものか、費用はどうなるか、いろいろ心配もありましたが、春頃より頻繁に役員会を開き、話し合いを重ね準備に入りました。難病という楽しくない共通の問題をもっている私達の集りです。議事や、講演だけに終らず、広く交流の場で親睦を深めたい。北海道独特のプランをたて、私達の住む街へ全国の仲間をひきつけるプログラムを編成を、あれこれ欲張りました。

開催日が迫るにつれ、各自が自発的に仕事の分担をし、家も持ち帰り作業をするとともに、電話で連絡をとりながら定期的に役員会を開き、進行状況を確認していきました。

このころになりますと、役員ばかりでなく、札幌近郊の会員も集まり、みなが一つの気持になつて総会をめざして頑張ることが



できたことは、総会の成功もさることながら、一番うれしいこと
でした。一人ひとりの力は小さくても、それが結集すると大きな
ものが生れます。これからも頑張りたいと思います。ご支援下さ
い。

大会当日の様子は、山田さんから報告がごさいます。

お寒くなります。皆様風邪には充分注意をいたさしょう。

ああ シンドロ! でも楽しかった

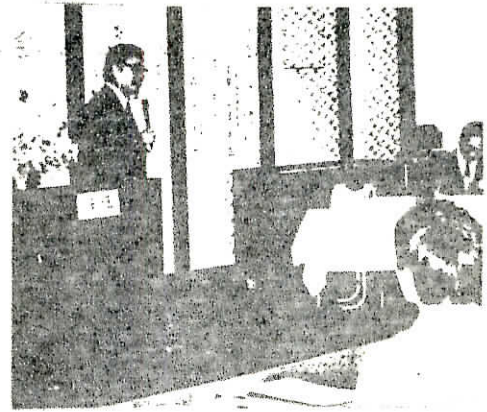
山田 崑嗣

■ 8月30日 ■

10時 役員集合、打ち合せを行ない、会場設営
をする。私はボランティア5名と難病連の車で出迎えを
担当。日航・全日空ターミナルで分散待期したが、
結局は、武田会長の一行を見逃して大失敗。

1所過ぎ、市内の先生の来場を
ヤキモキして行ってやっと開会。
私のさこちないあ、さつに続いて
鎌田支部長の“患者の訴え”があり





中瀬、瀬川、有森 3先生の記念講演があった。胸腺手術後追跡データを聞いて安心したり、難かしいお話を眠くしたり、くだりたお話を大笑いして聞いた。大変有意義でしたが、宇尾野先生が急病で、お話を聞けなかったのは残念でした。

6時から楽しい交流会が始まりました。

中華料理に、ビール、お酒がまわって、北海道合唱団による盛り上がりもあって、台湾から来られた、吳さんの懐かしい日本の恋の歌をきっかけに、次々と唄ったり、感激を述べたりしました。中でも大阪の会員が、娘が費用を出してくれたので、初めて飛行機に乗って、北海道まで来れたと涙ながらに訴えたのが印象的でした。

8時に終了しましたが、興奮の余韻は宿泊の各部屋

に遅くまで続く。話に花が咲き歓談は盡きないよう
でした。

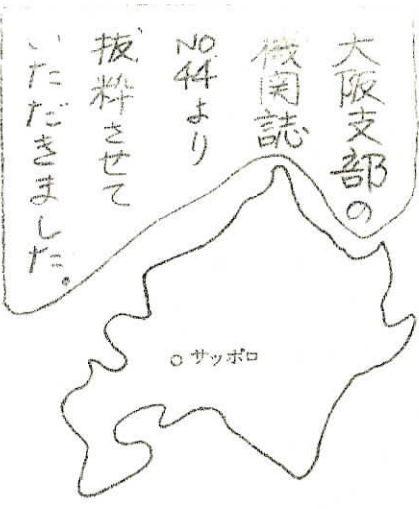
■ 8月31日 ■

9時から分科会が始まり、有森先生を中心に“より良い
療養生活を求めて” 瀧川先生を“迎えて” “筋無力症の症状
と治療法”、武田会長を囲んで“10周年を迎えて、友の
会活動を発展させよう”の3分科会の活発に行われ
た、有意義に終了しました。

11時30分から全体会で大会アピールを採択し、錦、田
支部長による閉会のあいさつで会議を閉じました。

続いて1時30分、市内観光バスが50名を乗せて出発
雨のために予定コースを変更したりしましたが、最後のお楽しみ
み、サンボロビール園に到着 食べ放題、飲み放題と
あって皆さんがたりやたら家ぶりを楽しんで、またバスの
人となり、6時30分宿舎に着きました。





★報告

第九回友の会全国総会

北海道支部の皆さん

ご苦労さまでした

分科会からバスタワー
まで成功だった総会

昨日からの激しい雨の中、大阪からは、垣淵さん、竹本さん、青木さん、綿谷さん、兵庫から阪下さん、私と総勢6名を乗せたジャンボ機747は、大きくゆれながら安全ベルトを締め放しのまゝ、8月30日の定時、10時55分に北海道千歳空港に着いた。此所で東京からの会員の皆様と合流、出席を危ぶまれていた武田会長のお顔も見え、全員12時40分に会場に到着。后1時の開会まで殆んど時

間がないまゝ簡単に地下で食事の後会場で受付をすまし、席に着いた時は1時を20分も過ぎていた。

開会は1時30分、開会挨拶は北海道副支部長の山田さん。司会を担当されたのは副会長の伊藤たておさん。次に武田会長がご挨拶に立たれ、宇尾野先生が急の貧血で出席不能の由を告げられ、初めての北海道開催を成功させたい、とお話あり、このあと伊藤さんより来賓の各氏が紹介される。

電報紹介。…そして鎌田さん（北海道支部長）より、北海道の筋無

力症患者の状況を訴える。と題して家族としての体験を通してのお話があった。

次いで総会議事に移り、垣淵さんが急提、議長に選出される。昭和54年度活動報告が本部の仲田さんより同年度会計決算報告が本部の上林さんより発表される。昭和55年度の活動方針案、同会計予算案の説明ののち役員紹介があり、いよいよ本日の記念講演に入る。

最初は市立札幌病院胸部外科医長の中瀬篤信先生が、「胸腺摘出手術と予後の調査」と題して、同病院で行われた40名の患者の手術例を話され、この内7名のクリーゼを起した患者の実態を例に出し、精神面の持ち方の重要さを強調された。

次に瀬川小児神経科クリニックの瀬川昌也先生が「小児筋無力症に対する治療知見」として話され、先生が体験された筋無力症患者の発生状況と、成人とは違った治療面の難か

しきや胸腺手術の是否などに言及された。3人目は、東海大学病院教授の有森茂先生、「重症筋無力症患者の早期発見法と薬の飲み方」と題して、眼から始まり、眼に終る患者の特徴から、正しい病名は全部重症筋無力症と名付けるべきで、軽症とか只の筋無力症は健康人にも起る現象である。とか、マイテラーゼ、メスチノン、ウブレチッドは、交互に飲み分けて見るのも良い。と云ったお話があり、このあと質問が殺到したが、時間が少く、中断され17時すぎ閉会。

小憩のあと、18時より参加者交流を兼ねた夕食会に入る。交流会は8名づつ位中国料理をかこんで、北海道合唱団の美女5名のコーラスに耳を傾けながら和やかに盃を交換したり、雑談に交流は続いた。北海道支部の人の民謡を皮切りに、台湾から出席の呉昌憲さんの歌謡曲「骨まで愛して」、呉さんの奥さんと友人の

鄭さん（美人でした）の中国歌の合唱で国際親善を盛り上げる。こゝで大阪支部の竹本さんの「涙の北海道旅行参加記」なども飛び出し、会は感動と拍手の渦に埋まった。

8月31日は、9時より総会をより有意義なものにするため分科会を設

◆好評だったコーラスグループ



けて討議、意見の交換を行った。第一分科会は、「よりよい療養生活を求めて」助言者は有森先生。坂下、青木、山辺が出席。

第二分科会は、「筋無力症の症状と治療法」助言者は瀬川先生。竹本、綿谷が参加。

第三分科会は、「10周年を迎えて友の会活動を発展させよう」垣淵が参加。

各分科会には、医師も参加してそこで話し合われた事や出された意見は、後程の全体会で報告し、分科会に参加しなかつた人にも伝わる様に工夫された。有森先生のお話で、患者の一人ひとりには医師と充分な会話を持つてゐる様な主治医が理想的で、緊急時を考えて、身近な医師を大切に―と、助言されたのが印象に残った。この後総会場に全員戻り、各分科会から出た意見等を報告し合い、2日間に亘る総会の幕を閉じた。

午後は札幌市内観光バスツアー。

バスは大倉山シャンツェー旭山公園
(札幌市内が一望、すばらしい眺め)
→羊が丘(ポプラ並木と羊の群が金色に光る。雨で見られず)→時計台
→サツポロピール園(開拓史以来の
建物で、食べ放題、飲み放題のジン
ギス汗と生ビールの味がスバラシイ)
夜は伊藤さんのご案内で、サツポ

ロライメンの試食に夜の町に出かける。
一番寒じていた竹本さんが元氣、
どこへも真先に参加されたのは立派。
登別温泉一泊のオープンショナルツアー
も終って、バスが空港へ着き北海道
支部の皆さんから一人ひとりお別れ
の握手を求められ、思わず熱いもの
が胸にとみ上げてくる。4日間の友
の会の皆さん達との心のつながりは
最高でした。 結び……

さいはての北海道での総会は、悪
天候にもめげず大成功でした。この
際には、勿論、北海道支部の皆さん
達の並々ならぬご努力のあとが憶は
れます。最後まで献身的にお世話下

さった伊藤さんと夫妻をはじめ北海
道のみなさん、車椅子まで持って最
後までお世話下さったボランティア

の皆さんに、心より感謝のお礼を申
上げます。

大阪支部理事 山辺大三

全国総会・北海道行に挑戦

竹本 武蔵(奈良県)

第九回全国総会(札幌)に、大阪
支部代表の垣淵、山辺様とそれに青
木、綿谷様と私が自由出席しました
が総会報告は別の人からあると思ひ
ますので、私は個人的な感激、感想
を述べます。

ところで総会が札幌で開催される
との通知があつて、出席希望を支部
にいち早く申し出たのが私であつた
ようです。それを知られた浅野支部
長や垣淵、池田様は、おそらくピッ
クリされたと思ひますし且つ喜んで
下さつたことと考へます。私の過去
を一番よく知つて下さつて、また心
配をお掛けし、お世話になつたのが

この方々で、当時あれだけ重症の私
が今日北海道で開催される総会に出
席するとは、どなたが予想されたで
ありましょう。最近になつて平穩で
調子のよい時は思わぬ行動も出来て
いる私であり札幌総会の知らせを聞
いてじつとしておられず、感情のお
もむくまま急いで仮申込みをしまし
た。その後、具体的なスケジュール
が届いて本申込みをする段階になつ
て私は冷静に考へ直しました。発病
以来十二年余、最近比較的に小康を
得ているとは言へ、まだまだ不安定
で働くことが不可な身体です。諸般
の事情をよく考へると、とても総会

に出席できるような身体でも立場でもありません。考え直した上で本申込みはしない事に決めました。ところが、こんなチャンスはおそらく今後あると思えないから是非に、と強力に推めてくれたのが妻と娘であります。私が金銭的に遠慮があつて出席を断念したのではないかと娘は判断して、早速自分の貯金を払い出し申込書も娘が書いて郵送してくれました。余談ですが娘は今秋十月に結婚し、それも相手男性の理解によって私達と同居して面倒をみてくれることになっており、娘は自力の、つつましい結婚費用の一部をさいて私の出席費用の捻出です。自分の娘ながら胸にジンとくるものがありその情愛に甘えて翻意し、ここに総会出席が実現した次第です。どこにも行けなかつた者が一挙に北海道行でまるで修学旅行のような気持で旅立ちました。支部五名と兵庫の阪下様の一行六名は、浅野支部長と池田様の

見送りを受けて三十日、九時十分、小雨の大阪空港を飛び立ち千歳空港に十一時到着。他支部の人達と共に札幌市に向い、北海道会館での全国総会に臨みました。総会では世界的水準の医学の話聞くことが出来ましたし、偶然ながら台湾から出席された呉様と同室でこれまた国際的交流が出来て意義あるものでした。総会並に交流会で大阪支部一行の夫々は、大いに氣勢をあげて総会の盛り上げに務めました。私も及ばずながらその一員、やはり喜びがそのまま表面に出たのでしようか、出過ぎや失礼な言動も多々あつたと思いません。それでも皆様方は大きく暖かく受け止めて、励ましやねぎらいの大ききさいを送って下さいました。総会後、観光にも参加させてもらいましたが終始たのしく、なごやかな旅でした。そのたのしい旅もやはり難病者の現実は隠すことが出来ず、早くは歩けず、高くは登れず、かば

い合いながらの観光で最終日、支笏湖上で一時ボート遊びをしましたがおールを握る者はその中、元気な人で、男性でありながら女性に操作を頼まなければならぬ等、笑えぬエピソードもありました。総会が終了現在、無事に出席出来たのがうそのように思われて今なお、その余韻に浸っています。その後、「竹本様を見て、やる気があればどんなことでもやれるのだと、勉強になりました」等、幾人かの人達からお便りを頂いています。今回私は恵まれて総会に出席しましたが決して過去を忘れまた、おごりの気持でもありません。これも一つの挑戦でした。現在なお厳しい闘病生活をされている人達にすまない気持はありますが、どうかこれも一つのサンプルとお考え下さって今後共に行動させて頂けるよう互に頑張りましょう。最後に今回総会を直接お世話下さった北海道の関係者並に大阪支部の方々に謝意を申し上げます。

昭和55年度 活動方針 及び 要望

▷ 活動方針 ◁

- 一、筋無力症原因究明と完全治療法確立のための研究費再予算化に対する活動を続けます。
- 二、筋無力症患者及び難病患者の療養施設(中間施設)の早期実現に向けて、活動を続けます。
- 三、筋無力症患者のための、地域ごとの神経筋難病専門病院設立のための活動を続けます。
- 四、他難病団体と協力して、福祉及び難病対策の向上をめざします。
- 五、全国各県未組織地域の支部結成を働きかけ、助成を行います。
- 六、1981年は、国際障害者年に当り、友の会も満10周年になりますので、それに向けての取り組み方、及び財源確保のため、本年も賛助会員の協力を仰ぐ活動をします。
- 七、私達は力を合せて助け合い、今一度、初心に立ちかえり、友の会活動を見直す必要があります。
今、新たに、次の要望を掲げ、その実現に努力したいと思えます。

▷ 要望事項 ◁

- 一、筋無力症の原因究明と、完全治療法確立のための研究の継続
- 二、筋無力症患者のための 地域ごとの神経筋難病専門病院と療養施設の早期実現
- 三、筋無力症を始めとする、難病患者の入院差額ベッドの撤廃と付添看護料の助成
- 四、筋無力症をはじめとする内部障害者に対する身障手帳の交付拡大と認定取得の簡素化 および内容の充実
- 五、筋無力症をはじめとする難病快方者の社会復帰への理解と受入体制の確立。

★9回全国大会アピール

私たちは「難病」といわれ、「原因も治療法も分らない」といわれ、一度ならず、絶望と不安の中に立たされました。その私たちが、困難と不安の中から立ちあがり、お互いに励まし合い、世の中に理解を訴え、研究の促進と医療と福祉の充実

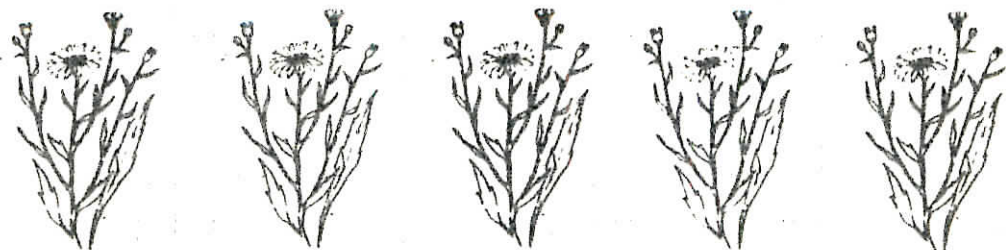
を訴えて 友の会の活動をはじめ、すでに9年を経ました。
その中9回の総会が、このように 北海道で全国大会が開ける
ようになり、多勢の患者、家族が集ることができるとは、全
く奇跡としかいいようのない思いがします。

これも 日夜 研究と治療にあたられた医師諸先生のご尽力と
関係者と皆様、国民の暖いご理解とご援助の賜と、心より感謝
を申し上げます。

しかし、この2日間の話し合いと交流、医療講演などによっ
て浮きぼりにされたように、私たちがおかれている状況は、け
っして全面的に明るなものでもなく、一般国民の持つことがで
きるような希望を持つことができるわけではありません。

今なお、多くの患者が苦しみの中におり、家族に多大の負担
をかけ、あるいは家族を失い、なおかつ、将来への展望を持ち
得ないでいるのです。患者のあつまりにさえ、なお、参加で
きない多くの仲間がいるのです。

私たちは、この状況をのりこえるために、一人でも多くの患者
と家族があつまり、お互いに支えあいながら、日本の医療と福



社の一層の充実・発展と 研究の促進をめざして運動をすすめる
なければなりません。

1981年は 国際障害者年となっています。

私たちは、日本の社会保障を本当のものとするためには、今後
の10年間は絶好の機会であり、私たちこそが、その運動をすす
める先頭に立たなければならぬと思います。

必要としているものこそが、その必要を訴え、必要な制度を
つくりあげていくことができるものと思います。

与えられけ福祉、恩恵的な福祉ではなく、真の社会保障の確立
をめざして、全国民の合意をつくりあげるために、全国の筋無
力症の患者と家族が立ちあがらなければならぬことを決議し
全国民の皆様の一層のご理解と、ご援助を、お願いいたします。

1980年 8月31日

全国筋無力症友の会 ~~代表者~~



〇〇 第9回全国大会にご来賓いただいた方々 〇〇

- 衆議院議員 小林 恒人 氏
- 参議院議員 高木 正明 氏
- 北海道大学医学部脳外科 田代 邦雄 先生
- " " 島 功二 "
- " 小児科 斉藤 陽子 "
- " " 榎井 直文 "
- 札幌医科大学 才一内科 松本 博之 "
- " " 伊藤 公晴 "
- 国立札幌病院 上田 満 "
- 市立札幌病院 才三内科 宮田 亮 "
- 勤労者医療協会中央病院内科 中井 秀紀 "
- 北海道衛生部長 代理 角島 靖夫 参事
- " 保健予防課特定疾患対策係 井東 保 係長
- 北海道民生部福祉課 奈良崎 紀生 課長
- 札幌市厚生局長 代理 坂井 昭三 予防課長
- " " 母子衛生係 高橋 晏 係長
- 北海道難病団体連絡協議会 大杉 寿美子 常任理事

〇〇 激励の言葉、電報をくださった方々 〇〇

- 国務大臣科学技術庁長官 中川 一郎 氏
- 衆議院議員 地崎 宇三郎氏
- " 川田 正則 氏
- " 三枝 三郎 氏
- " 社会労働委員 池端 清一 氏
- " 安井 吉典 氏
- " 島田 琢郎 氏
- " 五十嵐広三 氏
- " 岡田 利春 氏
- 北海道議会議長 西尾 六七 氏
- 全国筋無力症友の会九州支部 中島三嵯慧支部長

〇〇 第9回全国大会收支中間報告 (55.10.2現在) 〇〇

支 出		収 入	
案内状印刷発送	121,940	道より	200,000
議案札状他印刷発送	70,871	寄 付	116,560
連絡諸経費	22,260	支部準備金	626,191
記録他雑費	34,230	(会場、札幌市提供)	
講師謝礼他	282,880		
合唱団謝礼	30,000		
市内観光補助	50,010		
支部会費補助	330,560		
合 計	942,751	合 計	942,751

全国大会 第2日目

分科会報告

8月31日 午前9時より、3つの部屋に分れて分科会が行なわれました。保健婦さんも参加する中で、皆熱心に日ごろの悩みや疑問を話し合い、先生のお話、耳をかたむけていました。

▷ 第1分科会 ◁

「よりよい療養生活を求めて」

助言者 有森 茂 先生

参加者 36名

記録担当 鎌田 毅 支部長

・報告・

- ・現在の日本では胸腺腫を取ることで、85.5%が何らかの効果を上げている。これは世界的にも注目を集めている。
- ・ここ3、4年は胸腺腫の回りの脂肪と思われていたものも、新しい取り除く、または、コバルト照射をする。これが注目されている。
- ・筋無力症という病気は、なかなか治らない病気であるから、健康人と同じように生活することをめざして薬の量を減らしたりするのではなく、6、7割の生活を、ということに満足するべき。
- ・専門医にかかる際、ファミリードクターに内緒で来るのではなく、名刺なりもらって、きちんと処方してもらうのが、長い療養治療の上からみると、かしい方法である。
- ・結婚は、男性の場合はおおいにするべきである。

▷ 2分科会 ◁

「こどもの筋無力症の症状と治療法」

助言者 瀬川 昌也 先生

参加者 24名

記録担当 東谷美智子 さん

・報告・

- ・子供の筋無力症の場合 薬の飲み方、副作用、成長してゆくにつれての薬のことなど話し合われた。
- ・大人の場合、長い間薬を飲み続けていて、どの程度病気が良くなっているのかわからないので、時々はテンシロテストを受けた方が良いとの先生の助言があった。

▷ 3分科会 ◁

「10周年を迎えて 友の会活動を発展させよう」

参加者 14名

記録担当 村山 津恵さん

・報告・

- ・話し合いの前に、会長より10周年についての決定報告
とき：56年5月10日、午後2時より
ところ：東京駅構内にある施設（100～150名収容） 宿泊35名分
- ・各支部の活動状況を話し合う
- ・社会状況が厳しくなっているので、会員はもっと声を上げ、会費を納めるだけ、ではなく、会を盛りたててゆくべきではないか

発病以来初めての旅を、あのようにな
 楽しんで過ごさせて頂く事が
 出来、私の人生における記念すべき
 事になり、一生忘れる事ありません

大阪支部 竹本武蔵様

全国大会
 皆様の

雪国の人ほど、どうしても南国、指向が強い
 すが、同じ雪国同志も親しみがあり、良きので、
 秋田支部 小笠原 康彦様

本部 山中 美代様
 老体の身もかえりみず、北海道は
 大変御世話様になりました

今後は
 関西
 支部
 事務
 長
 山
 中
 美
 代
 様
 様
 様
 様

南に陣ふかしの旅を、あのようにな
 楽しんで過ごさせて頂く事が
 出来、私の人生における記念すべき
 事になり、一生忘れる事ありません



楽しい道内見物も出来、雨も又楽しく
 色々お方々とお逢い出来、季節感も
 十分、顔馴れになりました

大阪支部 綿谷 地江子様

北海道は、すでに風がふんわりとし
 来まり、皆様の調子は、おめでたような
 全国大会の様、お力、ご援助
 で成功させる事が出来、北海道支部
 一同感謝しております
 北海道支部長 鎌田

ただ旅をしにと言うだけで行く
 旅の楽しさを十分に堪能する事出来
 「始めて会った方は気がいい」という
 言葉の通り心の通い合う仲間として
 接してくれ 感謝してあります。

本部 本間 登平様

此の度はは 心ならずも
 筋無力症友の会
 の会の皆々様に多くの
 ご迷惑を おかけ致し
 特に支部長様始め北海道
 の役員の方々には 切角
 の骨折 折り込またいと
 思いますが 無に致しまし
 らぬ事と 心からお詫言
 い申し上げます

都立神経内科

宇尾野先生

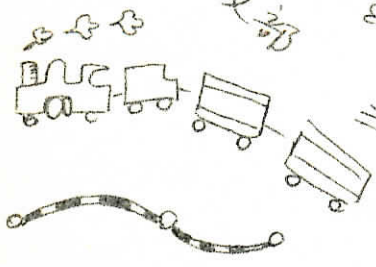
細心の御努力の程は
 有難う御座居ます一言に
 神奈川支部
 緒方 眞蔵 焚



終了後の
 一声です
 (お報告)

味氣雨の
 丸懐
 味氣の
 味氣の
 味氣の
 味氣の
 味氣の
 味氣の
 味氣の
 味氣の

多くの方々と知り合い...
 私にとりましてこの上ない喜びでありは...
 信城支部も もっと頑張らなければ...
 信城支部
 三浦 英子様



支部会員 近況報告

あと 幾日、この足で立つことが出来るのは、

あと 幾日、この足で地球と直角に歩けるのは、

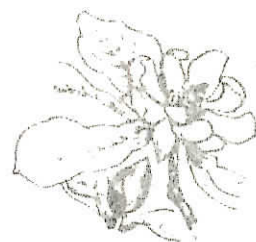
あと 幾日、この足で床の感触を（める）のは、

いっか消えていく。 (55.6.21)

わたしたちに 合同レクのみせ書が

いっか私も書きたい思い。

(55.7)



病し身、やさしくふれる 夫の手に

我が胸の内、せつなくうすまで

(55.8.7)

奥 美栄子 さんの詩です。 ☺

只今、札幌市立病院に入院しています。

今年の春、入院中に盲腸炎になり手術をなさったばかりも、

詩を創ったり、本を読んだり入院生活です。

皆様も 外來の日には、顔を出して下さるかと、

ステキな詩を聞かせていただけたいです。 ☺

○ 提 郁子さんが結婚されて、お名前が「佐藤」さんに変わりました。 おめでとう!!

新住所は、

○ 大橋吉子さんが ご主人の転勤で東京へ移られました。お別れに、落し物として交番へ届けられた1万円をご寄付くださいました。 ありがとうございます。

新住所は、

今日の話題

医 毒 と り び

東京府立総合医療センター（東京都中央区）の内科部長、大橋吉子さんが、ご主人の転勤で東京へ移られました。お別れに、落し物として交番へ届けられた1万円をご寄付くださいました。ありがとうございます。

新住所は、

山田和美さん
出産予定日まであと1ヶ月
無事に元気な赤ちゃんが生まれますように!

友の会事務局からのお知らせ

全国大会が終って、参加された全国の皆さんから、お礼のお便りが次々と寄せられております。

北海道支部の皆さんも、大変お疲れさまでした。

事務局は、大会の後仕末も十分にしないままに、難病検診のための出張が続き、お礼状やら、会費の領収書など、お送りするのが遅れております。申しわけありません。

○ ご寄付ありがとうございました ○

全国大会のために、たくさんのご寄付をいただきました。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| ・小笹 サヨ様 2,000円 | ・岡田 高橋
中村様 3,000円 |
| ・カトリック北11条教会
婦人会 10,000円 | ・市立札幌病院
3rd 婦長様 5,000円 |
| ・桜木 和子様 5,000円 | ・上林 様 10,000円 |
| ・石田 シン様 12,400円 | ・武田 会長様 10,000円 |
| ・迎田 達子様 1,000円 | ・新田 様 10,000円 |
| ・石井 英様 5,000円 | ・綿谷 様 14,400円 |
| ・高山 様 8,000円 | ・屋山 様 10,000円 |
| ・久野 美美子様 2,000円 | ・松井 様 5,000円 |

- 宇野 様 10,000円
- 三浦 様 4,000円
- 室蘭保健所衛生課様 3,640円
- 本向登平様 5,000円
- " 予防課様 5,398円
- 矢口京子様 17,000円
- 新出 様 10,000円
- 伊藤裕子様 6,280円
- 阿部 様 1,000円
- 大橋 吉子様 10,000円

(その他、千円未満のご寄付もいたたいております。)

☆ 物品販売活動にご協力下さい。☆☆

物品販売は、活動資金を得るための大きな財源となっておりますが、それと同時に、友の会のことを知っていただく重要な活動の一つとも言えます。友の会を大きく広げるためにも、販売活動にご協力ください。まず、ご自身が使ってみて下さい。お歳暮に、退院祝いなどに、いかがですか。少しでも送ります。

☆ シャンプー 550円 (2本セット化粧箱入り 1100円)

☆ 野草ほじ茶 500円 (2本セット化粧箱入り 1000円)

☆ 保温サポーター 各種 (関節の痛みをやわらげます)

☆ 2006年カレンダー 900円 (子供向け)

☆ 入浴剤(エマージ) 1,850円 (冷え症、しめけ、しっしんに効果あり)

☆ その他 いろいろ

難病連からのお知らせ

55年度

難病集団無料検診
相談会・医療講演会の中継券
おしらせ
帯広

根室

創設

10・26
集団検診

と き：昭和55年10月26日
9：00～12：00

ところ：総合病院
帯広厚生病院
(帯広市西6南8)

電話 0155 (24) 4161

と き：昭和55年10月28日(火)
9:30～16:00
(受付 9:00～14:00)

ところ：道立根室保健所
(根室市兼栄町2の1)

申込・連絡先
福祉事務所福祉課福祉係
電話 01532 (3) 6111

10・28
難病医療相談会

と き：昭和55年10月30日(木)
9:30～16:00
(受付 9:00～14:00)

ところ：中標津町特別母と子の家
(中標津町東1南3)

申込・連絡先
道立中標津保健所保健予防課

電話 01537 (2) 2168

10・30
難病医療
相談会

記

とき：昭和55年11月3日(月)
13:00 ~ 16:00
(受付 12:30 ~ 14:00)

ところ：標茶町社会福祉センター
☎ 01548 (5) 2503

申込・連絡先

標茶町住民課福祉係 01548 (5) 2121
弟子屈町福祉課福祉係 01548 (2) 2191

11.3

難病医療相談会

難病医療講演会

とき 11月2日(日)

ところ 栄町会館(釧路市栄町7丁目)

講演 1) リウマチ・膠原病の治療と療養生活について
勤医協中央病院 大橋 晃 先生

2) パキンソン病と神経筋肉系疾患の治療と療養生活について
北大脳外科 島 功二 先生



記

とき：昭和55年11月1日(土)
9:30 ~ 15:00
(受付 9:00 ~ 14:00)

ところ：厚岸町福祉センター
(厚岸町梅香町)

申込・連絡先

厚岸町環境衛生課 01535 (2) 3131
浜中町保健課 01536 (2) 2111

11.1

難病医療相談会

≡ チャリティ観劇会報告 ≡

難病センター建設の一日も早い実現をめざして、さまざまな活動を行っていますが、去る8月24日(日)、札幌市民会館大ホールにて、観劇会を行いました。

この収益は、難病センターを法人化する基金として積み立てられます。

収入 3,526,305- (10月23日現在)

- ・券売上 2,245,600
- ・広告収入 899,000
- ・寄付 381,705

この内、友の会では
¥270,800の券売
り、広告、寄付を集め
ました。
ごろうさまでした。

支出 3,229,136-

- ・出演料 2,500,000
- ・宣伝費 620,000
- ・通信費 58,760
- ・印刷費 3,876
- ・交通費 11,580
- ・雑費 34,920

決算利益 297,169-

難病連では、難病センター(患者団体の会館・難病専門病院・研究施設・リハビリ施設・通所、通院のための宿泊施設・病院から退院した後、社会生活にもどるまでの療養施設・など)を建設するため、募金をしています。知りあいのお店、喫茶店、美容院などで、貯金箱をおいて下さるところがありましたら、お知らせください。

あとかき

全国大会が、終つて、二月後の「わたち」とり
まはが、おゆるし下さい。

● 難病患者を励ます道民集会 - たりて観劇会

「怒る富士」 前進座公演 新田次郎原作。

2月23日 小雨の降る中の公演でしたが、無事終つた。
筋無力症友の会では、枚の販売も一番多かったです。
あーいこの小雨で、会場は満席になりませんでした。
見終つた時、皆さ、良かったよ、ありがとう、と
の声が、あちらこちらで、聞かれました。

外は、8月、17日は曇り、日でしたが、胸の中に、熱いものを

● 感じた、1日でした。

(緑川)



編集人 全国筋無力症友の会北海道支部
〒060 札幌市中央区大通西9丁目
協栄生命ビル9階 電話 261-8026

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北1東4 本間たけし

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻第102号

昭和55年10月10日発行（毎月1回10日発行）

わだち No. 31

1部 30円